

令和6年1月11日 00673号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

ニュースレター【事務局情報】 2024(令和6)年 北見市武道館で新年初稽古スタート!



1月7日(日)9時、北見市武道館を利用する各武道団体の「鏡開き・初稽古会」が開かれました。北見地方剣道連盟(金子罔繁会長)と北見居合道連盟(山内正会長)は、元日の能登半島地震で被害にあった犠牲者に対し黙禱を捧げた後、年男年女全員が道場に祀られた鏡餅に刀を振り下ろし厳粛な鏡開き式が行われました。新年の初稽古会では、正月休みで運動不足の身体を徐々にほぐす

初稽古会が行われていました。今年一年、皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。〈佐藤〉



武道館スタッフ愛子の作品展シリーズ

武道館スタッフ
織田愛子展

※お題は「龍」北見市武道館に展示

連載 中国「老子」の思想 十五章 大人物

昔の真にすぐれた人物は*、微妙深遠で、測り知れない器量をそなえていた。だから説明のしようもないのだが、強(し)いて形容するなら、こんな按配(あんばい)になる。まず、万事に慎重である。あたかも冬のさなかに川を渡るごとくである。次に、消極的である。あたかも強国に囲まれて孤立した弱国のごとくである。しかも、重厚である。あたかも招かれた賓客のごとくである。物事に執着せぬこと、氷の溶け行くさまにも似る。飾り気のないことは、手の加えぬ原木さながらである。無心なことは、広々とした谷そのものである。そして、捉(とら)え所のないことは、濁った水を見る感がある。これは実に底知れぬ深さをもつ人物である。濁りを濁りのまま受容して、濁りそのものの静止を持ち、しだいに清く澄ませて行く。これをなしうる者が、いったいどこにあらう。休止を休止のままに受容して、休止みずからの動きを持ち、しだいに生々発展へと導く。これをなしうる者が、いったいどこにあらう。このように、「道」を体得した人は、完全になろうと努めずに、おのずと完全になる。みすぼらしさに甘んじて、立派になろうと努めないのは、そのためである。原文:古之善爲士者、微妙玄通、深不可識。夫唯不可識、故強爲之容。與兮若冬涉川。猶兮若畏四隣。儼兮若其若客。渙兮若冰之將釋。敦兮其若樸。曠兮其若谷。混兮其若濁。孰能濁以靜之徐清。孰能安以動之徐生。保此道者、不欲盈。夫唯不盈、故能蔽不新成。〈真にすぐれた人物〉原文「善く士たる者」。「士」とは、君主を補佐する政治家、知識階級。微妙玄通 理想の政治家像。自然の理法を体得した人間は、意欲的な明快さはほどこととして見当たらず、一見デクノボウ然たる姿である。十六章に続く